



先志書付以奉願

一武蔵野法皇救芝地御割渡被下置候は  
美市新田水飲百姓七人者大義家  
芝地表御慈悲御割渡被下置候は  
難有奉存候以上

乍<sub>レ</sub>恐書付以奉<sub>レ</sub>願候

一 武蔵野御開発芝地御割渡被<sub>レ</sub>遊候に付

関前新田水飲百姓七人之者共にも開発

芝地表御慈悲に御割渡被<sub>二</sub>下置<sub>一</sub>候は

難<sub>レ</sub>有奉<sub>レ</sub>存候、以上

享保九年辰四月

水飲百姓

小平次

印

久右衛門

印

平兵衛

印

新太郎

印

久助

印

久次郎

印

長三郎

印

共七人

武州多摩郡

関前新田

享保九年辰四月

武州多摩郡  
関前新田  
水飲百姓  
小平次

久右衛門

平兵衛

新太郎

久助

久次郎

長三郎

右之通水飲百姓書上候通相違無御座候 以上  
享保九年辰  
武州多摩郡  
関前新田  
水飲百姓  
久平次

右之通水飲百姓書上候通相違無御座候 以上

享保九年辰

武州多摩郡関前新田

名主 八郎右衛門